

ピストを総合的にとらえて子育て支援を行うことが提案されている。伊藤氏は、民間法人企業所得等を含む分配所得の格差と個人所得の格差のそれぞれによって戦後日本の国内人口移動を説明することを試み、両者の純移動に対する説明力に差がないことをみいだした。金氏と林氏の研究は、現在多くの地方都市で生じている中心市街地の衰退に注目している。

また、これらの研究報告のそれぞれについて討論者2名が予め選ばれており、活発な質疑応答が行われた。
(今井博之記)

2000年度人文地理学会大会

2000年度人文地理学会大会が2000年11月11～13日、立命館大学（京都市）において開催された。特別発表4件のほか、6会場において計81件の口頭発表が行われ、人口関連分野についても多数の報告がなされた。以下に主なものを紹介する。

- | | |
|--|-----------------|
| 「中年シングル男性を疎外する「空間」 | 村田陽平（京都大学・院） |
| 「東京圏におけるシングル女性の居住地移動」 | 木下礼子（神奈川県立和泉高校） |
| 「大都市における単身者用分譲マンションの供給 - シングル女性の住宅購入」 | 由井義通（広島大学） |
| 「結婚に伴う職住関係の変化 - 浦和市居住者の事例」 | 谷 謙二（埼玉大学） |
| 「大都市圏郊外地域における若年者の就業パターン」 | 稲垣 稜（名古屋大学・院） |
| 「京都市の歴史的な中心市街地における空間変容と人口動向」 | 藤塚吉浩（高知大学） |
| 「山村への移住とその要因」 | 豊国利佐（大阪教育大学・院） |
| 「幕末・維新时期開港居留地における人口集積 - 横浜本町五丁目のケーススタディ」 | 鷲崎俊太郎（慶應義塾大学） |
| 「産業革命期における県庁所在都市山形の都市住民構成に関する一考察」 | 葛西大和（山形大学） |
| 「日本本土における沖縄出身者の居住地展開」 | 當山清朝（立命館大学・院） |

今回上記のように、シングル女性（男性）とその居住地（空間）との関係について調査分析を行った研究の報告が続いた。いずれも既存の統計資料からでは把握が困難な事象の解明を目指したもので、夫婦と子どもからなる世帯など、これまで取り上げられることの多かった他の世帯類型との挙動の違いが報告されており、関心を集めていた。
(江崎雄治記)

第73回日本社会学会大会

第73回日本社会学会大会は、広島国際学院大学において11月11日～12日の両日開催された。一般研究報告は前回より大幅に増え、71部会で365本の報告が行われた。また2000年記念シンポジウムとして、「系譜の横断 19世紀/20世紀」「社会学は役に立つのか 社会問題群と社会学」の2本のシンポジウムが開催された。

本研究所からは「研究法・調査法2」部会で小島宏（国際関係部長）が「人工妊娠中絶申告の関連要因」と題して報告した。また「人口・家族」部会で鈴木透（国際関係部第三室長）が「高齢者の居